

世界かんがい施設遺産

てる い ぜき よう すい
照井堰用水

[岩手県・平泉町 他]

- 世界文化遺産に登録された奥州藤原文化の歴史的な中心地。
- 照井堰用水は平安時代（約850年前）、東北の鎮守府将軍 藤原秀衡公の家臣であった照井太郎高春がこの地に用水路を完成させ、下流の水田を美田としたので、その姓を取って「照井堰」と名付けられた。
- この用水は、水田へのかんがいばかりではなく、地域の大切な生活用水となっているほか、毛越寺（もうつうじ）浄土庭園にも遣水（やりみず）として疏水されている。



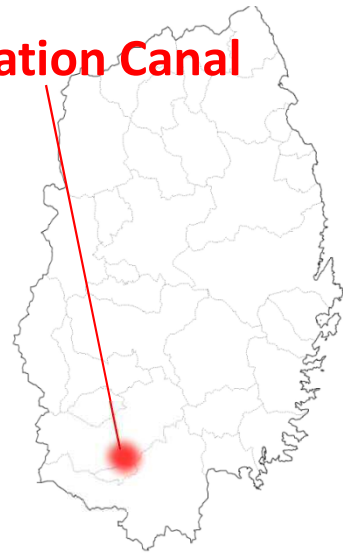
黄金色に輝く水田



毛越寺「曲水の宴」
(左上：浄土庭園へ疏水する制水門)

Teruizeki Irrigation Canal

時代の統治者の想いを
受け継ぎ850年
子々孫々守り続ける
かんがい施設



清らかな水の流れる石積み水路



1954年の水路改修工事



水土里ウォーク in 照井堰用水

問い合わせ先 照井土地改良区 TEL.0191-23-2135